

	<p>日本プライマリ・ケア連合学会 北海道ブロック支部</p>		<p>発行人:支部長 木村 眞司</p>
			<p>北海道ブロック支部事務局 (市立美唄病院内) TEL:0126-63-4171 e-mail:hpca.jimukyoku@gmail.com</p>

文責 北海道ブロック副支部長 小嶋 一 (手稲家庭医療クリニック) kojimah@gmail.com

連日の新型コロナウイルスに関する動きでブロック支部会員の皆様も落ち着かない日々をお過ごしのことと思います。くれぐれもご自身とご家族、職場の方々の安全で健康な日々をお祈りいたします。今回のニュースレターでも世の流れと同様に会のキャンセルや延期のお知らせがありますが、引き続きブロック支部の活動に注目ください。

<報告①次期北海道ブロック支部長決まる>

全国理事選挙に続きブロック理事選挙が先日締め切られました。北海道ブロックからはブロック支部副支部長・倶知安厚生病院の木佐健悟先生が無投票で選出となりました。5月の学術大会で開催される社員総会をもって現ブロック支部長である木村眞司先生から木佐健悟先生に交代となります。新ブロック支部長のもと、次期も北海道ブロック支部の活動を盛り上げていきたいと思っております。皆様のサポートを引き続きよろしくお願い致します。

<報告②キャンセル・延期となったブロック支部関連行事>

- ・2020年3月7日開催予定だったミニ地方会(市立旭川病院)は開催見合わせとなりました。
- ・2020年4月に開催予定だった北海道庁主催、臨床研修病院合同プレゼンテーションは例年JPCA北海道ブロック支部としてブースを出していましたが、今回は開催自体が見合わせとなりました。

<報告③第7回北海道プライマリケアフォーラム(兼)北海道医学大会プライマリケア分科会(兼)第4回JPCA北海道ブロック支部学術集会在開催されました>

2019年11月23日(土)、かでの2・7にて開催されました。

参加者のアンケートを添付しますので参照ください。

<報告④サイトビジット、ポートフォリオ検討会を開催しました>

2019年11月8日に帯広協会病院にて開催されました。道内の指導医、専攻医、事務職員など18名の参加がありました。全国で最も歴史のある北海道家庭医療学センターのプログラムということで学びの多い会となりました。

<告知①第8回北海道地方会>

【日時】:令和2年6月27日(土)13時30分~18時10分(受付12時30分~)

【場所】:かでの2・7(北海道立道民活動センター 札幌市中央区北2条西7丁目)

【参加費】:支部会員 ¥2,000 非支部会員 ¥4,000 学生 無料

【テーマ】:「これからのプライマリ・ケア in 北海道」

メインシンポジウム: 「これからのプライマリ・ケア in 北海道」

シンポジスト

北海道大学大学院医学研究院 医学教育・国際交流推進センター 高橋 誠 教授

旭川医科大学 内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野 奥村 利勝 教授

座長: 日本プライマリ・ケア連合学会理事長 北海道家庭医療学センター 草場 鉄周

チラシや開催概要は以下から参照ください。

<http://jpca-hokkaido.jp/wp-content/uploads/5ddc4a090755ca54bb8564c14ed7bbc7.pdf>

<ご質問・ご要望をお寄せください!>

北海道ブロック支部では支部長・副支部長が毎月一回ビデオ会議で行なっています

副支部長の担当業務は以下の通りです。ご意見・ご質問があればお気軽にお寄せください。

山田副支部長: サイトビジット・ポートフォリオ検討会、専攻医関連

臺野副支部長: 学生関連、支部広報・ウェブサイト関連

木佐副支部長: ミニ地方会、キャンプ、学術

小嶋副支部長: プライマリケアフォーラム、ニュースレター

日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部事務局

〒072-0031 北海道美唄市西2条北1丁目1-1

市立美唄病院内 代表電話 0126-63-4171

北海道ブロック支部事務局アドレス hpca.jimukyoku@gmail.com

担当: 高倉・今澤



これからの プライマリ・ケア

多職種でプライマリ・ケアを学ぶ
第8回 JPCA北海道地方会

2020年
6月27日(土)
13:30~18:10
かでの27

■メインシンポジウム■
16:55~18:05

これからの プライマリ・ケア in 北海道

シンポジスト

高橋 誠 教授 北海道大学大学院医学研究科
医学教育・国際交流推進センター

奥村 利勝 教授 旭川医科大学 内科学講座
消化器・血液腫瘍制御内科学分野

座長

草場 鉄周 日本プライマリ・ケア連合学会理事
北海道家庭医療学センター理事

■一般演題■ 口頭・ポスター 14:00~15:00

■ワークショップ等■ 15:10~16:40

ワークショップ①
今年こそ始めようEBM

ワークショップ②
チームのやる気を引き出すには
~インナーワークライフを高める方法~

シンポジウム
Road to 2025
~地域包括ケアシステムに
必要なハードを知る~

日常診療UpDate
リハをもっと知ろう!
運動療法 リハ薬剤 リハ栄養

カフェ企画
シーズ・ラボ
~これからのプライマリ・ケア
の種を咲かせよう~

参加費 支部会員:2,000円 非支部会員:4,000円 学生:無料

託児室あり (事前予約)

「家庭医療専門医、プライマリ・ケア認定更新のための単位」、「プライマリ・ケア認定薬剤師の認定単位」が取得できます (申請中)



詳細やお申込み方法については
ホームページをご覧ください
<http://jpca-hokkaido.jp/>

日本プライマリ・ケア連合学会
北海道ブロック支部事務局 (市立美唄病院内)
TEL:0126-63-4171 FAX:0126-63-4300
E-mail:hpca.jimukyoku@gmail.com

日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部 第8回北海道地方会

【日 時】:令和2年6月27日(土)13時30分~18時10分(受付12時30分~)

【場 所】:かてる2・7(北海道立道民活動センター 札幌市中央区北2条西7丁目)

【参加費】:支部会員 ¥2,000 非支部会員 ¥4,000 学生 無料

【テーマ】:「**これからのプライマリ・ケア in 北海道**」

【プログラム】

- 1 開会のご挨拶(13:30 ~ 13:40)
- 2 総 会(13:40 ~ 14:00)
- 3 学 術 発 表(14:00 ~ 15:00) = 「口演(一般演題)」、「ポスター発表」
- 4 ワークショップなど(15:10 ~ 16:40)

① ワークショップ:「今年こそ始めよう EBM(仮)」

講師:佐藤 健太 先生(勤医協札幌病院 内科・総合診療科)

向坊 賢二 先生(勤医協札幌病院 内科・総合診療科)

伊藤 圭一郎 先生(手稲家庭医療クリニック)

島津 真理子 先生(手稲家庭医療クリニック)

島津 匠生 先生(手稲家庭医療クリニック)

担当実行委員:加藤 利佳 先生(手稲家庭医療クリニック)

※北海道での EBM ワークショップは今年で第三回目を迎えます。

今回は、初学者でも簡単に EBM を日常診療に取り入れるコツを、またすでに EBM を実践している方達には EBM の定着を目指し、日常診療で使える!面白い!と思えるような WS としたいと思っています。

② ワークショップ:「チームのやる気を引き出すには ~インナーワークライフを高める方法~」

講師:中川 貴史 先生(北海道家庭医療学センター 栄町ファミリークリニック院長)

荒関 美和 先生(北海道家庭医療学センター 栄町ファミリークリニック事務長)

山崎 礼子 先生(北海道家庭医療学センター 栄町ファミリークリニック看護師長)

※みなさん良いケアをしようと奮闘していることと思います。でも歯車がかみ合わない時は少なからずあるもの。リーダーを経験したことがある方は「どうしたら仲間は前向きに物事に取り組んでくれるだろう」と考えたことがあるのではないのでしょうか。インナーワークライフの概念を利用して、その答えを我々と共に見つけてみませんか。

③シンポジウム:「Road to 2025～地域包括ケアシステムに必要なハードを知る」

講師:佐々尾 航 先生(北海道立羽幌病院 医師(地域包括ケア病床))

黒鳥 偉作 先生(北海道立羽幌病院 医師)

泉 謙之 先生(北湯沢温泉いやしの郷 事務部長(介護医療院))

日下 勝博 先生(江別訪問診療所 所長(訪問診療診療所))

須藤 健司 先生(ノテ福社会せんだい医療福祉多職種連携ネットワーク

介護福祉士(看護小規模多機能居宅介護))

※2025年を目途とする地域包括ケアシステム構築まであと5年。

既存の施設や新たなハードも登場していますが理解できているでしょうか?時代の流れに応じて形態転換が迫られている、あるいは地域にハードはすでにあり連携を求められているなど、各地の現場における今後のシステム構築に向けた参考になるよう、当事者の声を通じ紹介し意見交換したいと思います。

④日常診療アップデート:「リハをもっと知ろう! 運動療法,リハ薬剤,リハ栄養」

講師:小林 英司 先生(北海道文教大学,理学療法士)

田村 英俊 先生(寿都そよかぜ薬局,薬剤師)

阿部 沙耶香 先生(医療法人溪仁会 札幌西円山病院,管理栄養士)

吉村 由梨 先生(ナカジマ薬局,管理栄養士)

※今回は、リハについての日常診療アップデートを企画しました。プライマリケアにリハを上手に組み込むと、その質は大きく向上します。リハに関わる多職種の思考回路を経験して、明日からの診療の幅を広げてみませんか?

⑤カフェ企画:シーズ・ラボ ~これからのプライマリ・ケアの種を咲かせよう~

企画担当:山口章江 先生(十勝勤医協帯広病院薬剤師)

木佐健悟 先生(JA 北海道厚生連倶知安厚生病院主任医長)

※プライマリ・ケアは、医学的知識のみならず幅広い知識を求められ、活動するフィールドも病院、診療所に留まらず、学校、企業、地域と多岐にわたることが魅力のひとつです。

これからのプライマリ・ケアに必要な新しい知識・スキル・活動や、今後注目されそうなトピックス、地方会で取り上げてほしい企画などを持ち寄って話してみませんか？もしかしたら次回の地方会の企画やブロック支部の行事に発展するかもしれません。

5 メインシンポジウム：「これからのプライマリ・ケア in 北海道」(16:55 ~18:05)

シンポジスト：北海道大学大学院医学研究院 医学教育・国際交流推進センター 高橋 誠 教授
旭川医科大学 内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野 奥村 利勝 教授
座 長：日本プライマリ・ケア連合学会理事長 北海道家庭医療学センター 草場 鉄周

※この度、卒前教育として地域医療や総合診療を担当する部門に携わる大学人の先生方をお迎えして、大学の視点から見た総合診療の現状を確認することで、“これからのプライマリ・ケア”を担う人材育成や教育、実践の場など“オール北海道”として幅広く意見交換をすることを目的として企画いたしました。どうぞ奮ってご参加ください。

6 閉会のご挨拶(18:05 ~ 18:10)

7 懇親会(18:30 ~)……TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前(毎日札幌会館5階)予定

- 託児室(かでの2・7内)を準備しています。ご希望の方は事務局へ
- 多職種でプライマリ・ケアを学ぶことができる貴重な機会です。
- 非支部会員の皆様も大歓迎! ふるってご参加下さい!

第8回北海道地方会 実行委員長 佐藤弘太郎

(ブロック支部幹事、北海道家庭医療学センター本輪西ファミリークリニック)

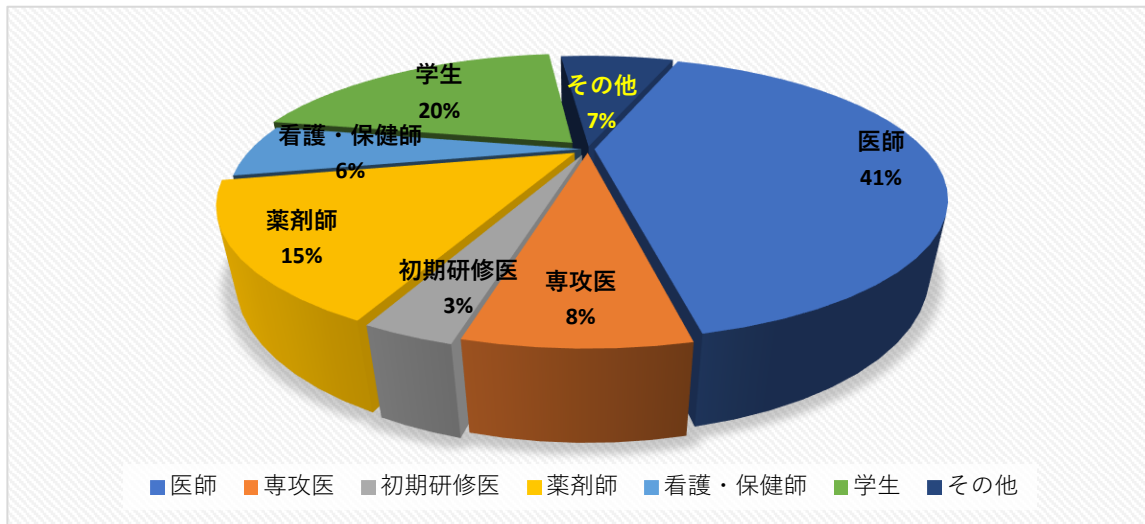
第7回北海道プライマリ・ケアフォーラム参加人数及びアンケート結果

I 参加人数

単位：人

	医師	専攻医	初期研修医	薬剤師	看護・保健師	学生	その他	計
事前申込	46	12	5	18	8	20	7	116
当日申込	21	0	0	6	2	13	5	47
合計	67	12	5	24	10	33	12	163

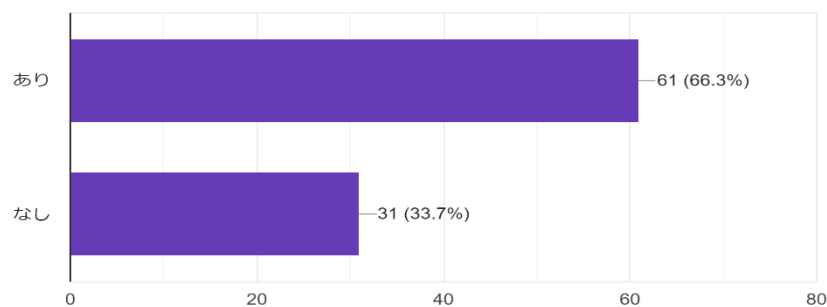
※上記数字には、基調講演講師(1名)含む。事務スタッフ(13名)は含まない。



II 全体アンケート結果

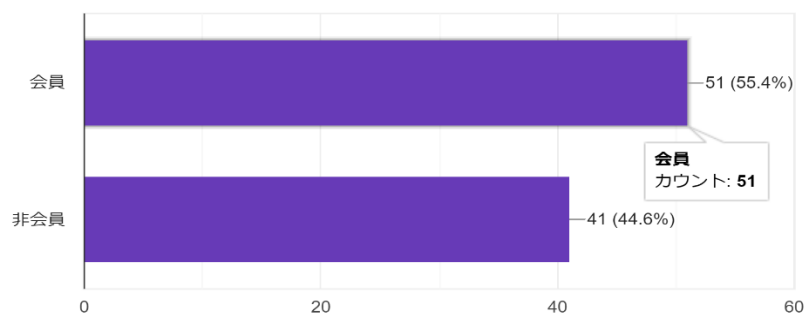
1 以前、北海道プライマリ・ケアフォーラムに参加したことがありますか？

92件の回答



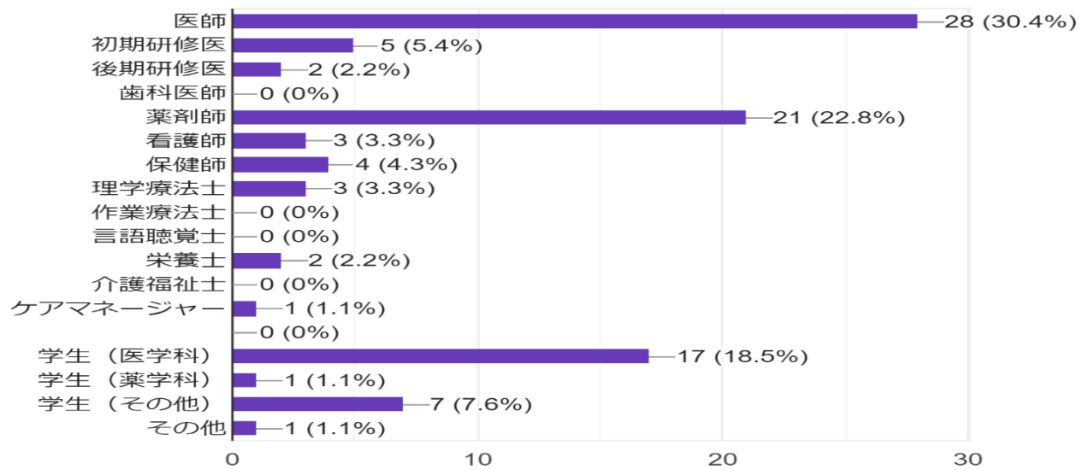
2 日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部の会員ですか？

92件の回答



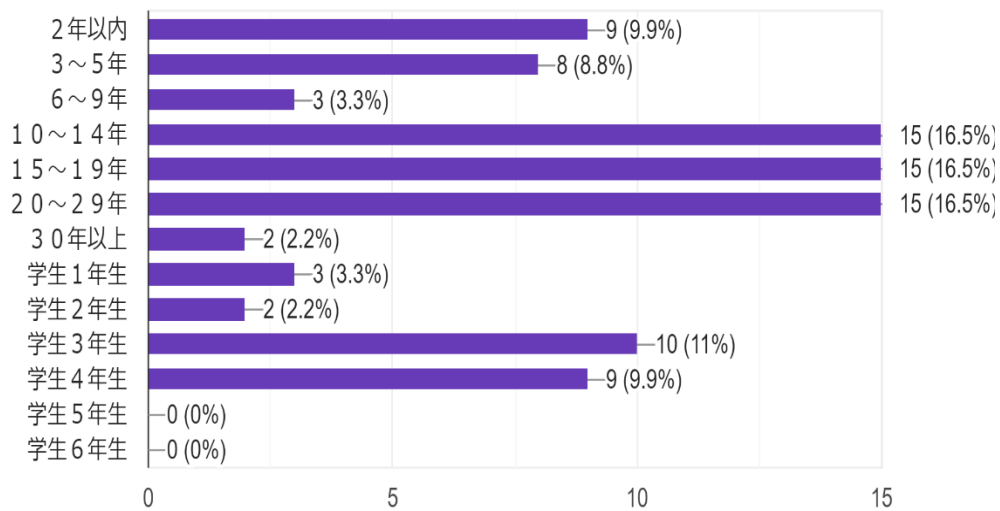
3 職種を教えてください。

92 件の回答



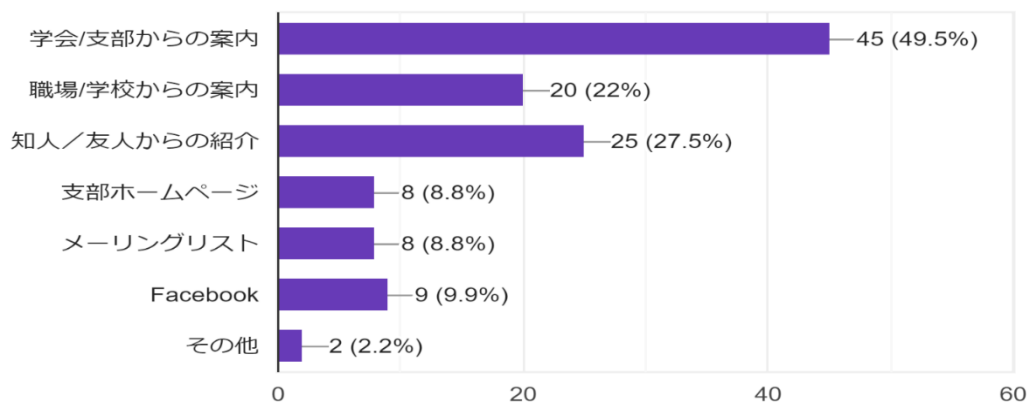
4 現在の職業に就いて何年ですか？（学生は学年を教えてください。）

91 件の回答



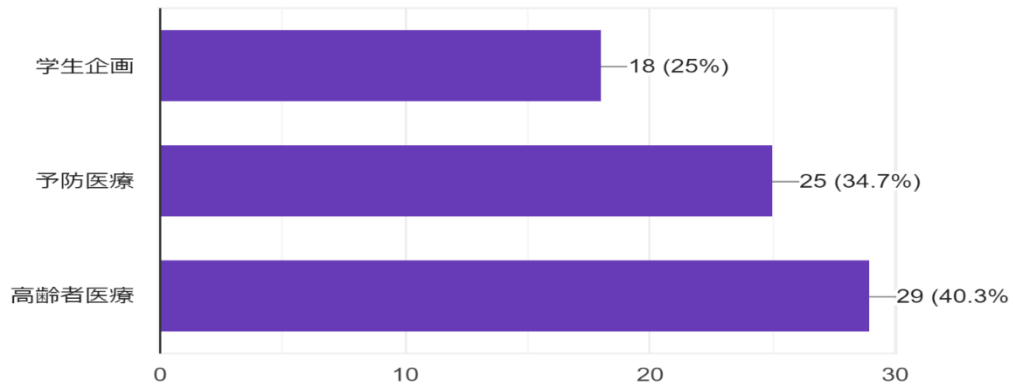
5 何処で知りましたか？（複数回答可）

91 件の回答



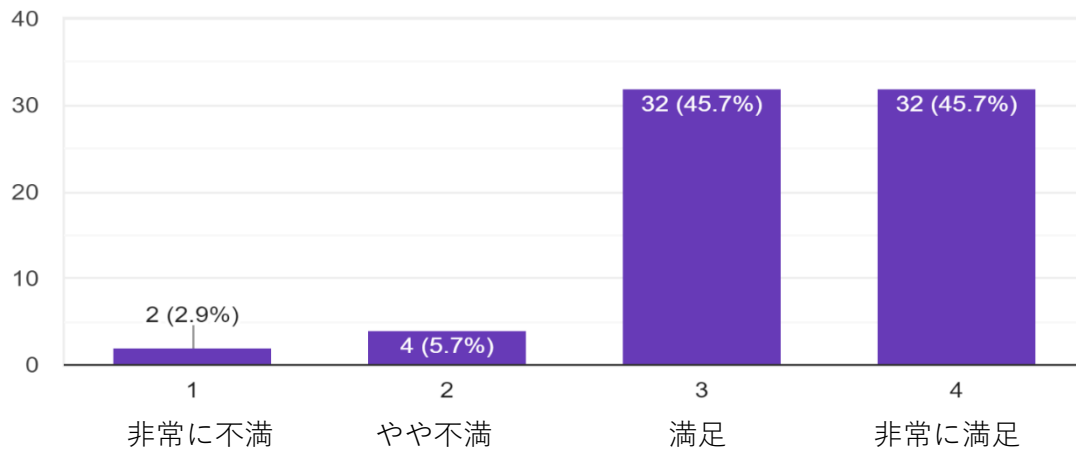
6-① 参加したセッション1を選んでください

72件の回答



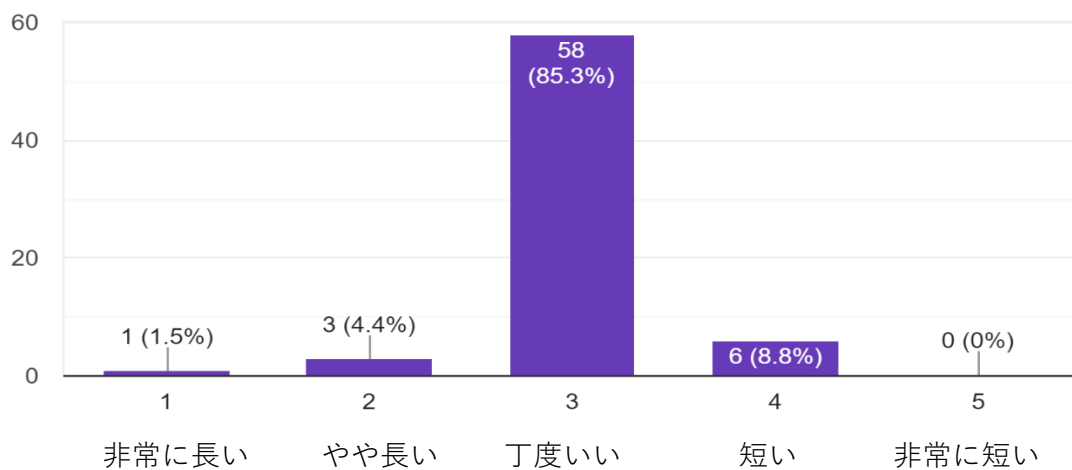
①-ア 参加したセッション1の内容

70件の回答



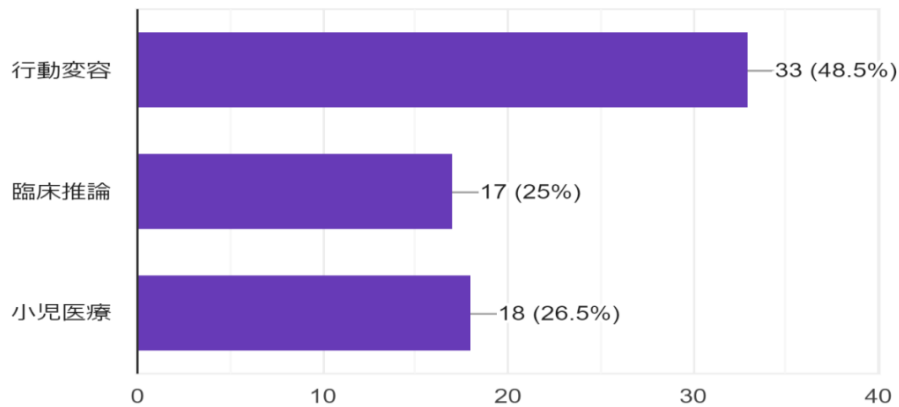
①-イ 参加したセッション1の時間

68件の回答



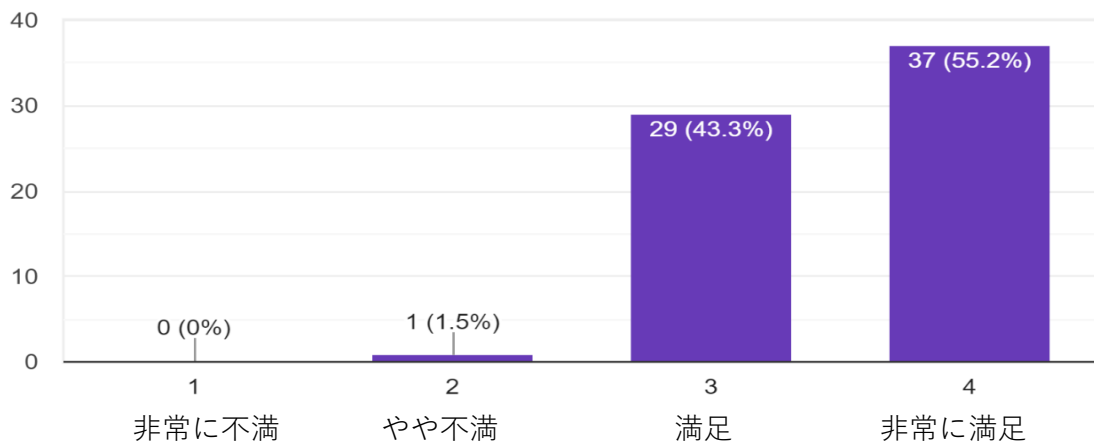
6-② 参加したセッション2を選んでください。

68件の回答



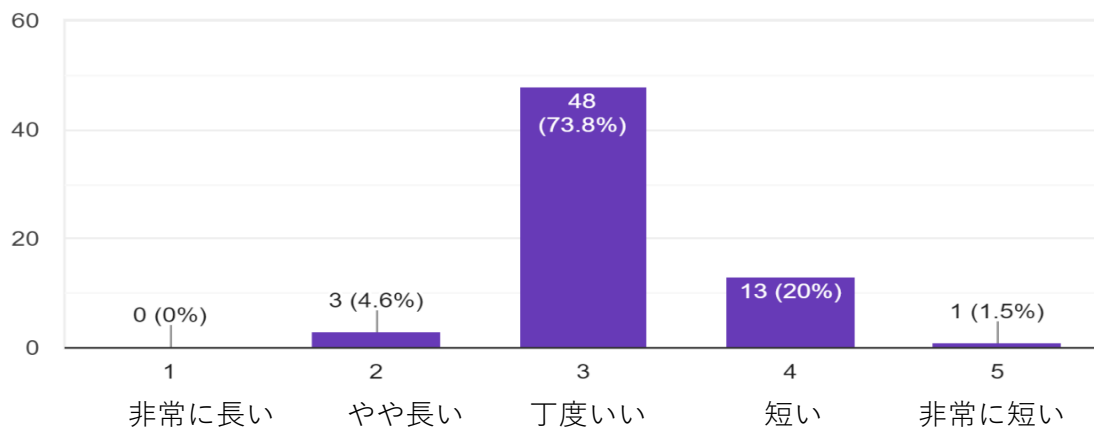
②-ア 参加したセッション2の内容

67件の回答



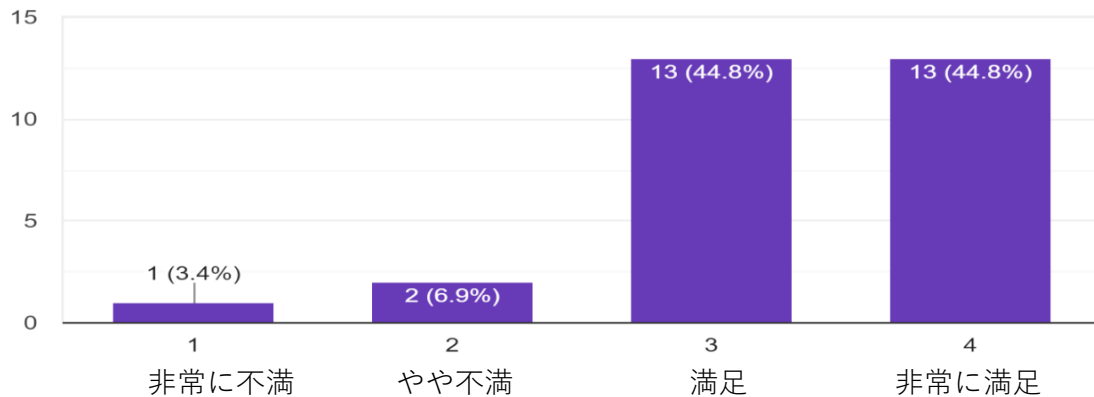
②-イ 参加したセッション2の時間

65件の回答



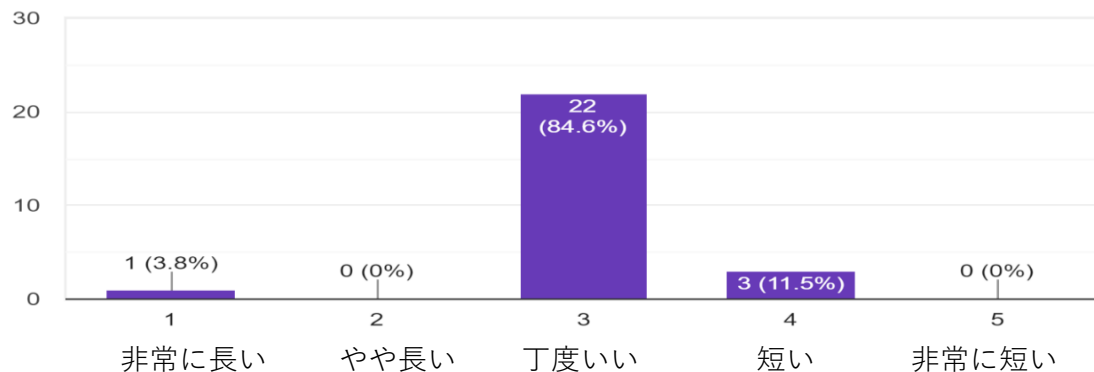
6-③-ア 学術集会「並行企画」の内容について（参加者限定）

29件の回答



6-③-イ 学術集会「並行企画」の時間について（参加者限定）

26件の回答

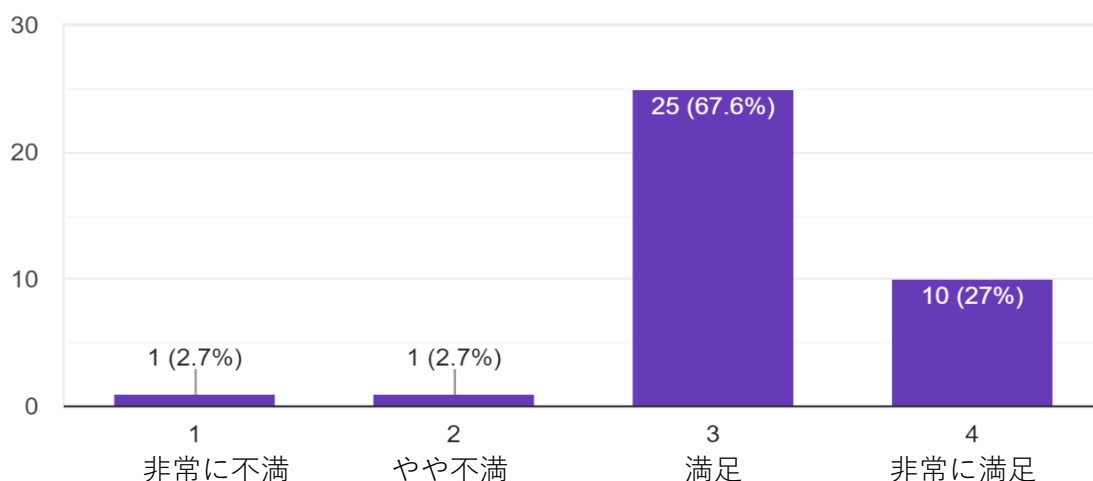


◆各セッションについて良かった点、改善点、感想などございましたら教えてください。

- ・自分の日常診療を振り返るいい契機となった。
- ・わかり易く楽しくお話して下さった。難しく取り残されたらどうしようと不安だったが、温かい印象のセッション(①も②も)でありがたかった。
- ・地域医療の特徴について学びました。
- ・学生時に参加していて、研修医として参加してみると今やっていること、心がけていることをしっかりと確認できたように思われました。学生が多く参加されていて熱心だと思いました。
- ・短いシナリオの中からも気付かされる点がいっぱいありました。
- ・セッション②の臨床推論がとてもおもしろかった。学生のわかり易い講義と現役医師の意見の両方を学べることはなかなかないと思ったので良かった。
- ・学生企画のときに低学年のために医学的知識が書かれていたのがすごく良かったです。小児医療にもそういった手助けがあると嬉しかったです。
- ・コンパクトにわかり易くまとめられたセッションで良かったです。
- ・セッション② 参加者が多職種で色々な方のお話が聞けてよかったです。
- ・どちらのセッションも時間があっという間に過ぎてしまいました。日頃の服薬指導や薬局業務に生かせそうです。
- ・並行企画はトークテーマ等が決まっていると、なお話しやすかったと思います。

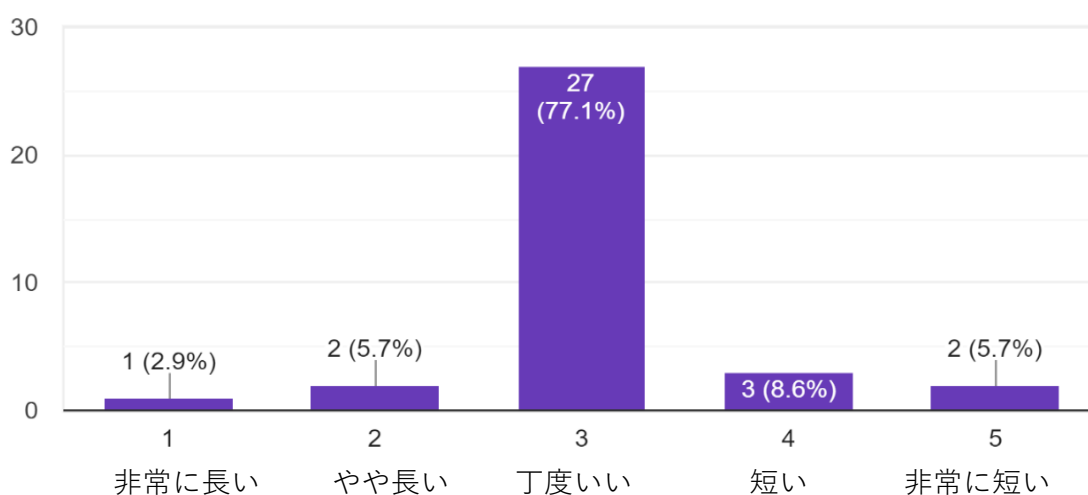
7-① 後期研修プログラム紹介の内容について

37件の回答



7-② 後期研修プログラム紹介の時間について

35件の回答

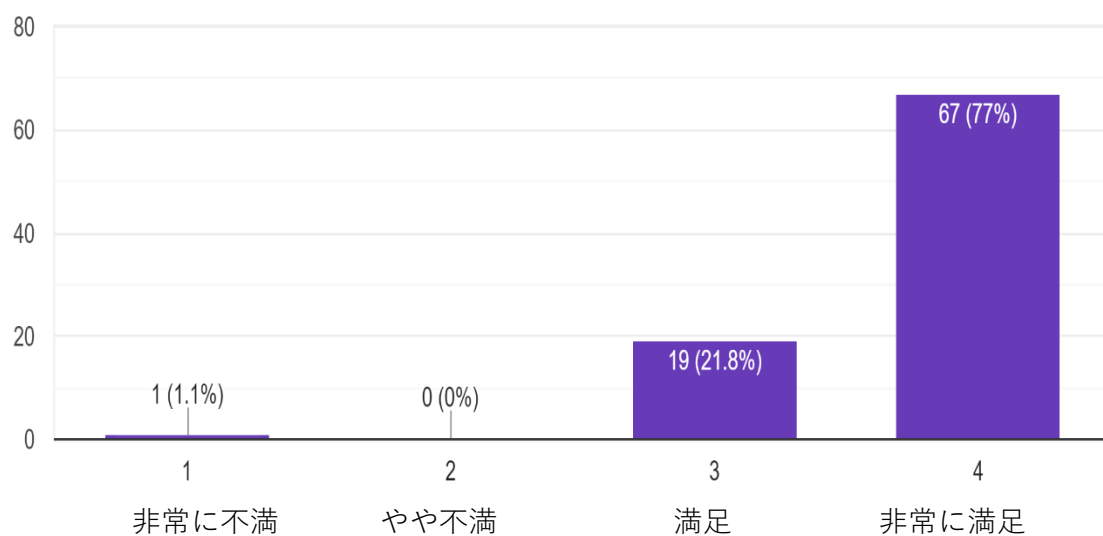


◆良かった点、改善点、感想などございましたら教えて下さい。

- ・他のワークショップが終わらず、聞きたいけど聞きに行けなかった。難しいと思うが時間にゆとりをもってスケジュールリングしてほしい。
- ・初期研修についてもっと詳しく知りたかった。
- ・もっと詳しく説明してほしいと思いました。
- ・勤医協のすごさが伝わった。

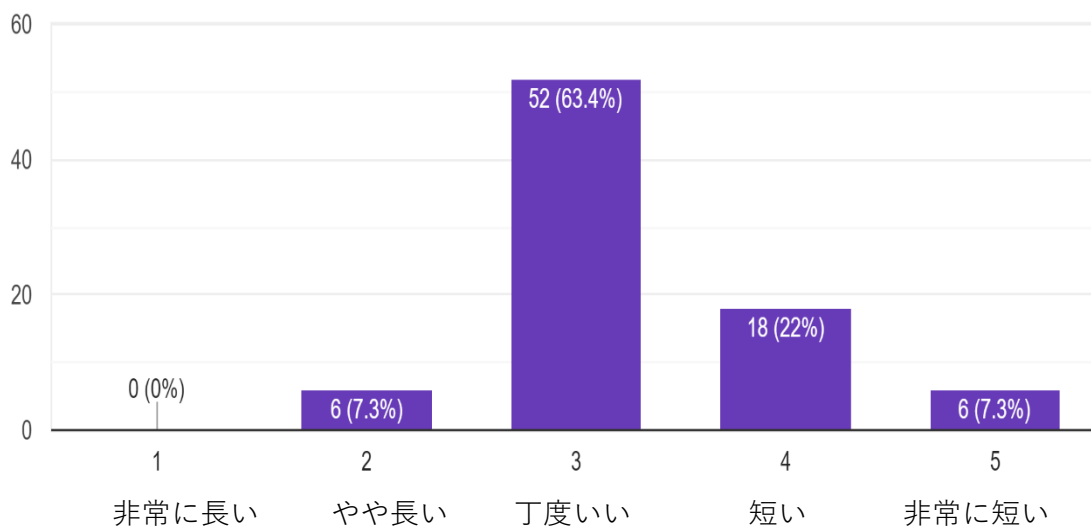
8-① 基調講演「これからの在宅医療のカタチを考える」の内容について

87件の回答



8-② 基調講演「これからの在宅医療のカタチを考える」の時間について

82件の回答

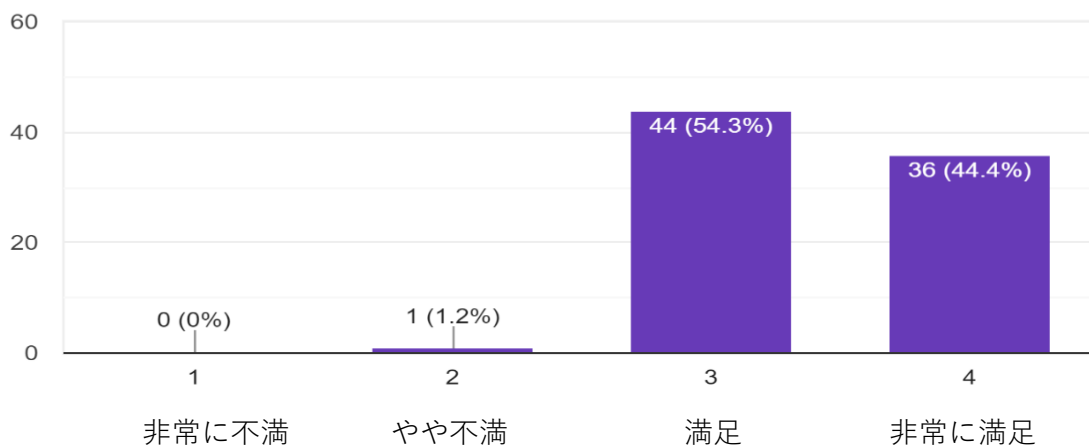


◆良かった点、改善点、感想などございましたら教えてください。24 件の回答

- ・自分の在宅医療のイメージが大きく変わった気がする。とても先進的で自分の自分の知らない世界が開けた気がする。
- ・2000 年頃足立区で在宅医療をしていました。社会的な困難を抱えている家が多く、なかなか入院を受け入れてくれる病院がなくて苦労したので、入院を減らすと取り組みは大事だと思いました。今は北海道の地方ですが、数年後には関東に戻る予定なので大都市の現状を聞いてとても参考になりました。
- ・大都市の在宅医療を知ることが出来ました。
- ・以前 youtube 上で拝聴しました。今回生で 2 回目の拝聴でしたが、働き始めてから大変参考になるお話でした。Alb 値は気にかけるようにしておりましたが、るいそうが気になる患者がいたら積極的にアセスメントできたらと思います。
- ・之まで常識だと思っていたことが、全然違うことにびっくりしました。
- ・在宅医療の現場で活躍されている先生の話が貴重で良かった。
- ・栄養!!!今までの考え方は間違っていたが・・・反省。
- ・目からウロコの内容でとても面白かった。マネージメント能力も素晴らしかったです。これからの医療の考え方が変わりました。
- ・東京はこわい!
- ・医療は自己実現のためにするのではない。クライアントは患者ではなく public という視点。その他、色々な学びが多くあつという間の 90 分間でした。
- ・在宅医療を幅広い科の医師に賛同してもらい、大規模に展開できることはすごいと思った。このようなカタチで在宅医療が普及していけば良いと思うが、病院勤務医の理解を深める必要があると思った。
- ・パワーとエネルギーを得ました。地域を変える力、医療を変える力、本当に興味深い話ばかりでした。自分のミッションを見直そうと思いました。ありがとうございました。
- ・栄養や予防の大切さを知れた。都市部の医療も大変である。
- ・新しい視点を沢山いただき感動しました。
- ・食事、栄養の重要性について知れてよかった。
- ・自分が患者さんと関わっていく中で自分自身の目標が定まってきた。非常に刺激的な会でした。
- ・とても素晴らしい講演でした。日本人と他アジア人の食事内容には本当に驚きました。また、薬が多い患者さんが多い中で、薬を減らそうと尽力されている先生のような Dr が沢山いたらいいのになと思いました。薬剤師として切に感じます。
- ・話がすごすぎてついていけない部分もあったが、非常に刺激的だった。
- ・あつという間の魅力的な時間でした。
- ・今までの常識が塗り替えられる大変学び、発見の多い時間でした。
- ・ものすごかったです。
- ・とても魅力的な組織とビジョンだったのでもう少し具体的なノウハウなども教えていただきたいかった。
- ・ご講演を踏まえて、勉強、WS がしたい!
- ・生活習慣病予防からの年代に応じた発想転換が新鮮で勉強になりました。

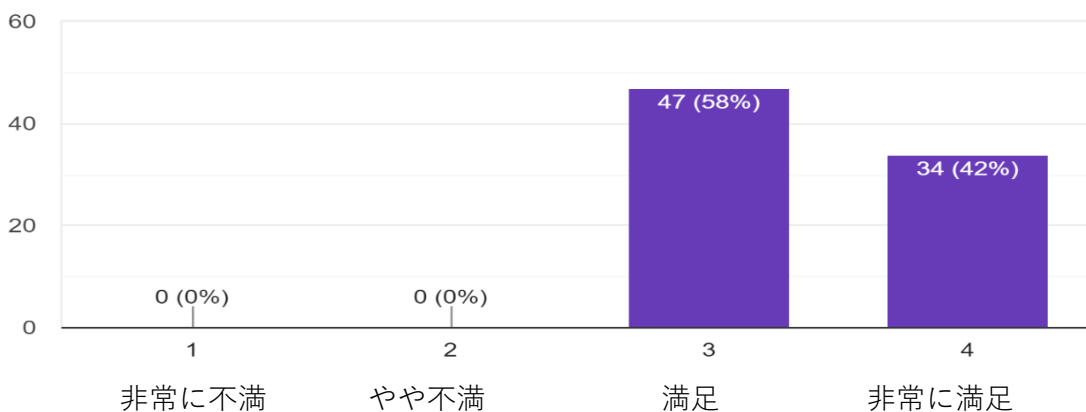
9-① プライマリ・ケアフォーラム全体の内容について

81件の回答



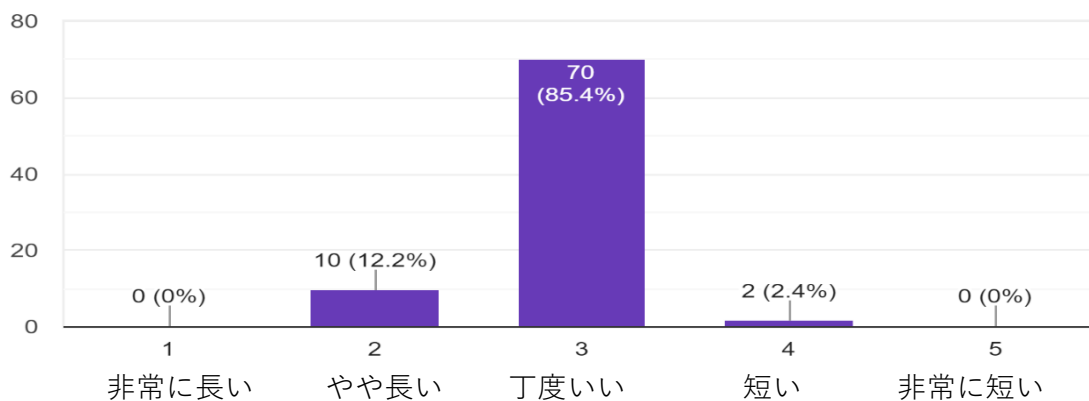
9-② プライマリ・ケアフォーラム全体の運営について

81件の回答



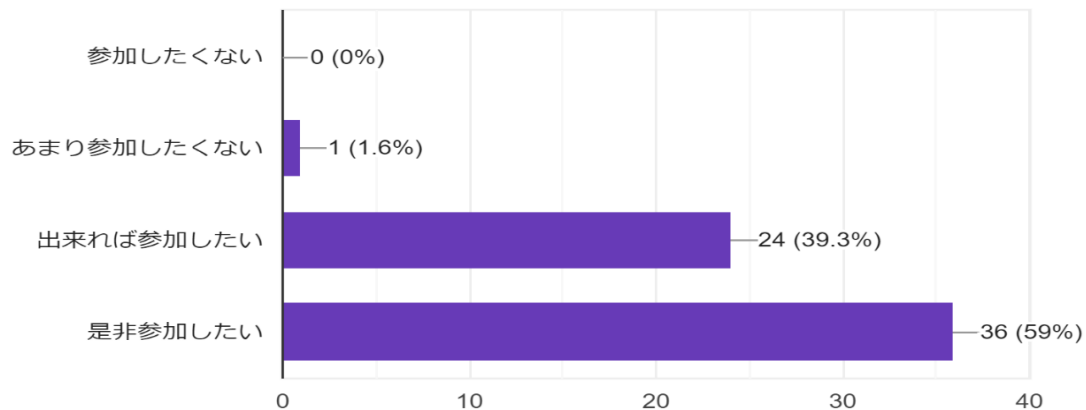
9-③ プライマリ・ケアフォーラム全体の時間について

82件の回答



9 - ④ 次回の参加について

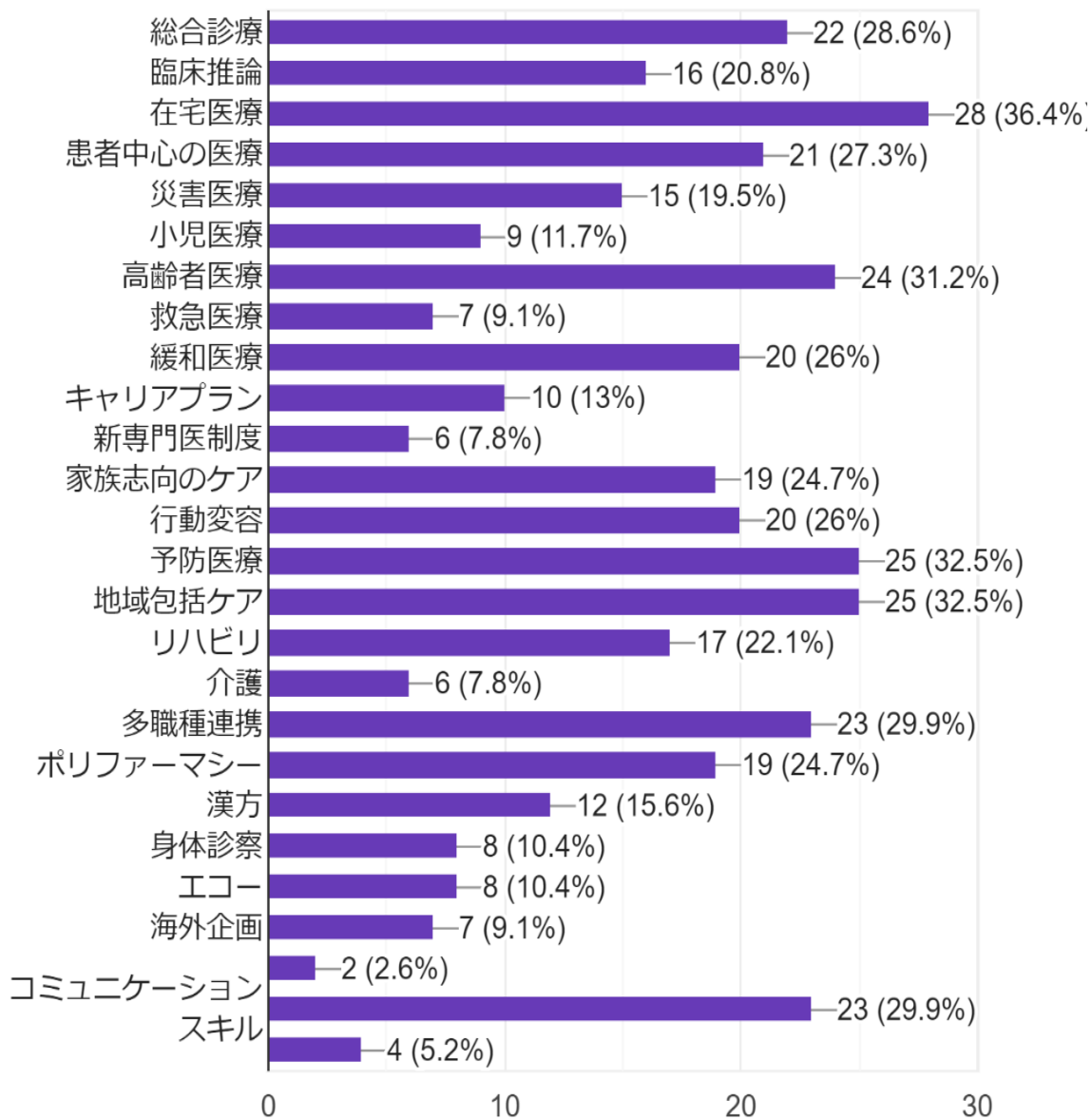
61 件の回答

◆ 良かった点、改善点、感想などございましたら教えてください。

- ・学生が現役の総合診療医と交流する機会があったこと。講演会も勉強になりました。
- ・19時を過ぎると疲れるので17時までにしてほしい。10時開催でも良いのではないのでしょうか。事前登録したつもりが出来ていなかった。確認できる方法があれば良い。
- ・若い実行委員の方々が頑張っている様子が見ることができて良かったと思います。
- ・有意義なワークショップと素晴らしい基調講演でした。運営されている方々の努力に感謝します。
- ・学習のきっかけを沢山得ることが出来ました。
- ・会場が少し寒く感じた。
- ・これまで4回ほどフォーラムに参加しておりますが、今回が一番勉強になり有意義だったと思います。しっかりと準備された印象を受けました。基調講演の講師の先生の選択も良かったです。お疲れさまでした。
- ・消化不良ギリギリになるほど学びのある時間でした。

10-① 来年度以降、参加して...選んでください。(複数回答可)

77件の回答



◆選択した内容について、具体的なアイデアがあれば教えてください。

- ・その他(母子保健、性教育)
- ・地域包括ケアについて、福祉職の方(ケアマネ、社会福祉士、地域包括ケアセンターのスタッフの方など)のお話又は語り合う企画があると良いです。(いろいろな人達の話聞く)
- ・その他(看護師セッション)
- ・その他(フレイル予防)
- ・その他(ビブリオバトルをもう一度)